



学校評価だより(前期)

令和7年
10月

名木野小学校の令和7年度の重点目標（目指す子どもの姿）は、『自己尊敬 ～自分が自分を好きになる子ども～ 未来を切り拓く人材育成』です。この姿を実現するために、名木野小学校では3つの学力部会で、成果目標・教育活動・運営活動を設定し、全校体制で取り組んでいます。そして、定期的に評価を行い、取組の改善を図っています。1学期の子どもの姿や各種アンケート結果から、成果と課題、2学期の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

令和7年度 見附市立名木野小学校グランドデザイン

【見附市の基本理念】・ふるさと見附を愛する子ども ・世に役立つことを喜びとする子ども

国：主体的・対話的で深い学び
個別最適な学びと協働的な学び

県：ふるさとへの愛と誇りを胸に、夢や希望を持って粘り強く挑戦し、未来を切り拓いていける、たくましいひとづくり
地域の特色を生かし、地域とともに歩む学校づくり

＜教育目標＞希望に燃え、飛躍していく子ども（希望と飛躍）

学力の向上

自己肯定感の高まり

＜今年度めざす子ども＞自己尊敬～自分が自分を好きになる子ども～ 未来を切り拓く人材育成

生きて働く「知識・技能」

☆学習で用いる言葉の理解をもとに、音読や文章読解力を高める子ども

【成果目標】

- ① 国語、算数のワークテスト(知・技)を85%以上にする。
- ② 「文章をすらすらと読むことができる」児童の割合を80%以上にする。

【教育活動】

- ① 学習用語を用いた復習を全単元で1回以上行う。
- ② 学びタイム等を活用し、音読や子ども同士の読み聞かせの場を月に1回以上設定する。

【運営活動】

- ① 学習用語を使った復習や、教室掲示の工夫の情報を共有する。
- ② 音読や読み聞かせについて、情報を交換し共通理解を図る。

未知の状況に対応できる「思考力、判断力、表現力等」

☆課題に対して、知識・技能を生かし、仲間と交流しながら、思考・判断・表現しようとする子ども

【成果目標】

- ① 算数のワークテスト(思・判・技)を75%以上にする。
- ② 「授業で課題について、友達と話を分かちあおうとしている」児童の割合を80%以上にする。

【教育活動】

- ① 算数科で子どもの思考のズレや疑問を基にした追求課題(◎)を単元の中で1単位時間以上設定する。
- ② 自分で選んだ研究教科または算数科において、対話の指導及び価値付けを行う。

【運営活動】

- ① シャペリ場や学年部公開授業で、対話や追求課題(◎)について、研修の場を設定する。

学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」

☆人間関係を作る力を培い、協議して学びに向かうことのできる子ども

【成果目標】

- ① 「自分にはよいところがあると思う」児童(全学年)の割合を80%以上にする。
- ② 「学級や他の学年の友達に、自分の考えを安心して伝えることができる」児童の割合を80%以上にする。

【教育活動】

- ① 自他を認め合える活動(友達のよさを伝え合う活動)を児童と授業担当が学期に1回以上行う。
- ② ペア学年・たてわりグループ・2学年間等で交流する活動の場を設定し、伝え合う時間を楽器に1回以上設定する。

【運営活動】

- ① 各学級で自他を認め合える活動の実施の確認と紹介を学期に1回以上行う。
- ② ペア学年・たてわりグループ・2学年間等で交流する活動の実施と紹介を学期に1回以上行う。

＜学級経営と支援教育の充実＞ ～学級担任のカラーを打ち出す学級経営とスクラム学級・交流学級/学年、家庭、関係機関等が連携し、自立を支え、夢をはぐくむ～

＜特色ある教育活動の推進＞伝統を継承しつつ発展させよう

＜キャリア教育＞

- ◇「読書運動」(全学年)
- ◇「親子で仕事を語る会」(3年)
- ◇「生き方講座」(3～6年)
- ◇ドリカムカードを活用したボランティア活動

＜伝統活動＞

- ◇「草薙健」の発展(3・4年)
- ・生活科、総合、社会の地域学習
- ◇「草薙太鼓」(クラブ活動)
- ◇第64代「鼓笛隊」(5・6年)

＜ユネスコスクール＞

- ◇防災教育
「防災スクール」(5年)等
- ◇17の課題に挑むSDGsの取組
- ・生活科、総合的な学習の時間

＜共生の心を育てる活動＞

- ◇見附特別支援学校との交流
- ・運動会、居住地交流等
- ◇支援学級と通常学級児童の交流及び共同学習(全学年)
- ◇異学年交流

生きて働く
「知識、技能」

学習で用いる言葉の理解をもとに、
音読や文章読解の力を高める子ども

【成果目標の達成状況及び評価】

	成果目標	前期（7月）結果	評価
①	国語・算数のワークテスト（知識・技能問題）の平均正答率を85%以上にする。 ＜A：85%以上 B：80%以上＞	国語 全校平均正答率 83.0% 算数 全校平均正答率 83.0%	B B
②	児童アンケート「文章をすらすらと読むことができる」に肯定的に回答した児童の割合を80%以上にする。 ＜A：80%以上 B：70%以上＞	よくできた …37.7% だいたいできた…48.5% あまりできなかった…10.2% できなかった … 3.6%	肯定的回答 86.2% A

【成果・課題、2学期の取組】

◎各クラスで工夫した「読む読むタイム」を継続的に行った。自学ノートにおすすめの音読を掲載したり、国語の教科書の他に社会の資料集や算数のコラムの部分、博士マークの部分なども音読したり、グループで丸読みをしたりする機会を設定した。読む活動を多く取り入れることで、読むことへの抵抗がなく、自信をつけている児童が増えている。（昨年7月 83.6%→今年 86.2%）

◎学習用語を定着させるために、クラス全員で声に出したり、その時間で学んだ学習用語を用いて、授業の振り返りを書いたりした。また、学習用語を用いた復習を行い、繰り返し用語に触れることで定着してきた。

△学習用語を正しく理解したり、長い文章を読んで意味を理解したりし、ワークテストの知識・理解分野の問題で正解を導けるよう、課題解決に活用していくことが課題である。

⇒1学期は、各学級で取り組んでいる「読む読むタイム」の工夫や、音読の方法などについて、担任間で共有を図る時間を確保できなかった。各学級で成果を上げている取組を共有することで、全校として成果を上げることにつながったり、系統的な学習につなげることができたりする。2学期以降は、職員の情報交換の時間を確保し、全校体勢での取組を進めていく。

未知の状況に対応できる
「思考力、判断力、表現力等」

課題に対して、知識・技能を生かし、仲間と
交流しながら思考・判断・表現しようとする子ども

【成果目標の達成状況及び評価】

	成果目標	前期（7月）結果	評価
①	算数のワークテスト（思考・判断・表現問題）の平均正答率を75%以上にする。 ＜A：75%以上 B：65%以上＞	算数 全校平均正答率 76.1%	A
②	児童アンケート「授業で課題について友達と話をし、分かろうとしている。」に肯定的に回答した児童の割合を80%以上にする。 ＜A：80%以上 B：70%以上＞	よく話した …39.1% だいたい話した…35.2% あまり話せなかった…19.1% ぜんぜん話せなかった…6.6%	肯定的回答 74.3% B

【成果・課題、2学期の取組】

◎算数のワークテスト（思考・判断・表現分野の問題）では、昨年1学期の達成率が74.5%だったため、目標を75%に設定した。今年度1学期は昨年より正答率が上がり、日々の授業で、友達と意

見を交流したり、自分の考えと比較したりする活動を取り入れていることが成果につながってきている。(昨年度7月 74.5%→今年度7月 76.1%)

△74.3%の児童が、課題に対し友達と話して分かろうとしたと回答していることは、成果と捉えることができる。一方で、2割以上の児童が話せなかったと感じている。どの子ども意見を交流できる工夫が必要である。

⇒意見を交流する活動では、一部の決まった児童が中心となって対話が進んでいる可能性がある。全員の意見を聞くことや、自分とは違った考えを聞くことの大切さを指導し、どの子ども対話に参加するよう授業を進めていく。

⇒ズレや疑問を生かして、児童が考えたくなる学習課題の設定を工夫し、一人一人が考えたくなる授業、意見を聞きたくなる授業を進めていく。

**学びを人生や社会に生かそうとする
「学びに向かう力、人間性等」**

**人間関係を作る力を培い、協働して
学びに向かうことのできる子ども**

【成果目標の達成状況及び評価】

	成果目標	前期（7月）結果	評価
①	児童アンケート「自分にはよいところがあると思う」に肯定的に回答した児童の割合を80%以上にする。 ＜A：80%以上 B：75%以上＞	あると思う …43.6% どちらかといえばある…36.4% どちらかといえばない…12.8% ないと思う … 7.2% 肯定的回答 80.0%	A
③	児童アンケート「学級や他の学年の友達に、自分の考えを安心して伝えることができる。」に肯定的に回答した児童の割合を80%以上にする。 ＜A：80%以上 B：75%以上＞	よくできた …28.2% だいたいできた…45.2% あまりできなかった…21.6% できなかった … 4.9% 肯定的回答 73.4%	C

【成果・課題、2学期の取組】

◎各学級で「自他を認め合える活動」を積極的に行った。また、異学年交流を増やし、縦割り班遊びや縦割り清掃などの振り返りで、互いに認め合う声かけを行った。3～6年生のアンケート結果で肯定評価が80%を越えたのは近年では初の成果である。

△「学級や他の学年の友達に、自分の考えを安心して伝えることができる。」に肯定的に回答した児童は、1～2年生では65%前後。他の学年も75%前後であった。自分の意見を言うことに抵抗がある児童が多くいることが分かった。これは、周りの児童にどう思われるか心配だったり、間違えへの不安があったりすることがあることが考えられる。

⇒「自分のよいところ」について、自信をもって答えられない児童がいるため、「よいところ」とは、人と比べて優れているということではなく、自分が頑張っていることや、できていること、自分の気持ちなどで考えられるように、具体的に指導し、自分のよさに目が向くようにしていく。

⇒「自分の考えを安心して伝える」ためには、違う意見でも否定されない学級の雰囲気や、間違えてもチャレンジできるような授業をつくっていくことが大切になる。2学期からの授業の中では、意見をもたせることと同時に、自分とは違う考えを受け入れることができる学級づくりや、多様な考えを聞くことができる授業づくりを進めていく。

【その他の児童アンケート結果】※昨年度との比較

質問内容	R7.7月	R6.7月
1週間に何日くらい家庭学習をしていますか。 ⇒「だいたい毎日」「4、5日」と回答した割合	83.9%	81.6%
学校以外で、1週間にどのくらい読書を読みますか。 ⇒「だいたい毎日」「4、5日」と回答した割合	27.5%	32.5%
1週間にどのくらい、家のお手伝いや仕事をしていますか。 ⇒「だいたい毎日」「4、5日」と回答した割合	43.9%	46.9%
好き嫌いせず、給食を食べていますか。 ⇒「毎日」「だいたい食べている」と回答した割合	84.3%	85.5%
自分の学校のことが好きですか。 ⇒「とても好き」「好き」と回答した割合	87.1%	86.7%
自分の住んでいる地域や見附のことが好きですか。 ⇒「とても好き」「好き」と回答した割合	96.5%	95.7%
地域の人にあいさつをしていますか。 ⇒「よくしている」「だいたいしている」と回答した割合	75.3%	76.6%
学校で友達や先生、お客さんにあいさつしますか。 ⇒「よくしている」「だいたいしている」と回答した割合	84.3%	81.2%
花や緑を育てることや世話をすることが好きですか。 ⇒「とても好き」「好き」と回答した割合	74.0%	75.0%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。 ⇒「よく思う」「だいたい思う」と回答した割合	88.2%	90.7%
難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。 (3年生以上) ⇒「している」「だいたいしている」と回答した割合	85.6%	81.3%
学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。(3年生以上) ⇒「よくある」「ある」と回答した割合	90.9%	90.7%
先生は、学力がつくように熱心に教えてくれますか。 ⇒「よくしてくれる」「だいたいしてくれる」と回答した割合	97.1%	95.3%

【保護者アンケートから】

保護者アンケート自由記述の中で、教育活動に関してたくさんの意見、要望、感想等をいただきました。職員の指導や対応に関すること、交流運動会、水泳授業、持久走に関すること、行事の日程や、生徒指導に関することなど、様々な視点からの内容をいただきました。目の前の子どもたちの健やかな成長や幸せにつながる大切な内容として受け止め、今後の教育活動、学校運営に生かしていきたいと考えています。今後とも、名木野小学校の取組に、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。